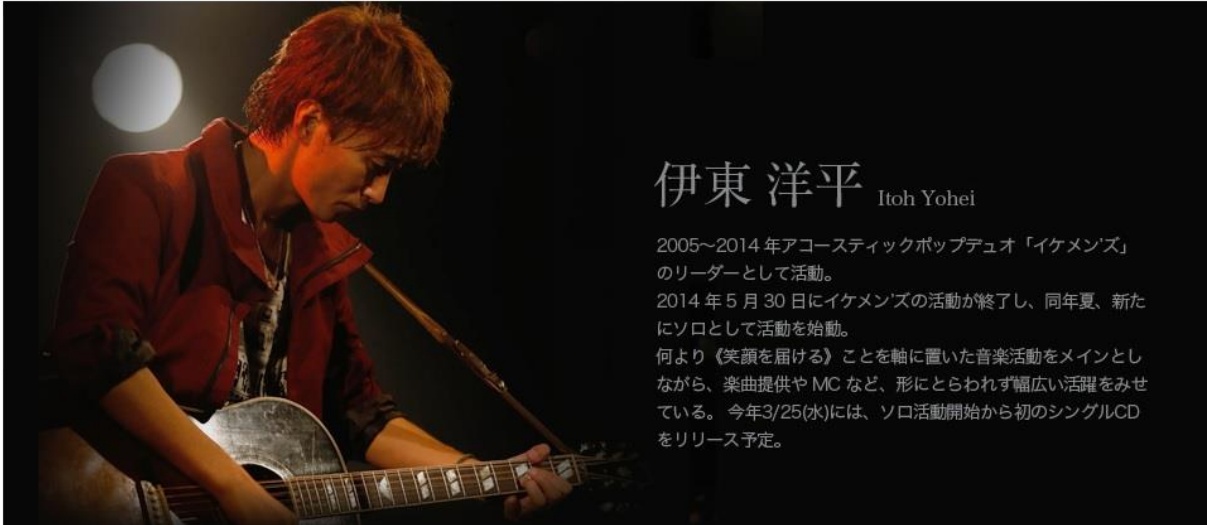


伊東 洋平 (いとう ようへい) プロフィール



公式ホームページより

宮城県仙台市を拠点に活動するミュージシャン。元「イケメンズ」メンバー。

2014年8月ソロでの活動をスタート。2021年12月25日には、目指してきた仙台サンプラザホールでのワンマンライブを実現。チケットは完売。

2022年からは「伊東洋平第二章」としてスタートを遂げ活動中。コロナ禍の中にあっても、オンラインライブ配信、各地でのイベントへの参加など、意欲的に音楽活動を展開してきた。TBCラジオで、レギュラーラジオ番組「ボクラノウタ」に出演中（毎週日曜日 11:00～11:30）。

【主な楽曲等の紹介】

主なシングル曲は以下のとおり。

「扉へのヒカリ」（2015年3月）

「HERO」（2016年4月）

「TSUBASA」（2018年6月）

「キセキのカケラ/Every single day」

（2019年4月）

「Refrain!」（2023年1月） その他多数。

それらの多くは、山一地所、トヨタ、東北電気保安協会などのCMソングとして使用され、主に宮城県内のメディアで流れている。

また、アルバムもリリースしてきた。「One for All」（2017年2月）、「Hereditary」（2020年11月）、「Door」（2021年12月）。

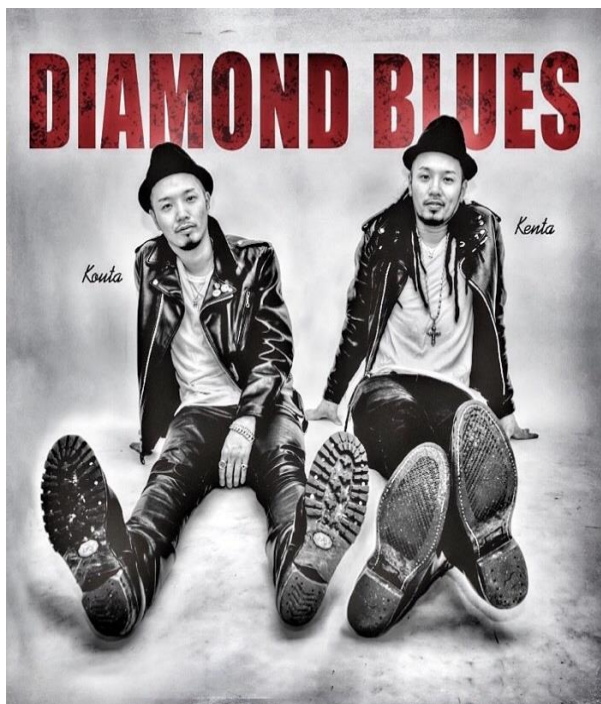
配信限定として、2022年9月7日に「君へ逢いにいく」をリリース。只見線全線再開通記念ショートムービー「あいせき列車 只見線 ～小出で恋して 会津を愛して～」の主題歌となる。作詞 伊東洋平・坂内譲／作曲 小林俊太郎。



Official YouTube Channel より

けんたこうた

双子デュオ 健太康太



スクールコンサートへの想い

東日本大震災後
今やるべきことはなにか？
自分たちに出来ることはないか？
音楽を通じて
子どもたちに想いを伝えたい、夢を見つけて欲しい
そう考えて始めたことが
今では自分たちの夢の一部
「生き甲斐となりました」
絶対の責任感があり言葉や歌での説得力を
毎回問われる.....
そしてライブが進んで行くにつれて
子どもたちの姿勢が変わり
先生方の眼差しが変わっていくのがとても嬉しい
それが何より
「今、音楽を通して生きている」
と強く感じる事ができる
スクールコンサートは健太康太の音楽人生にとって
必要不可欠なライブとなっています

健太康太 家

検索



プロフィール

PROFILE

- 1983年 - 双子として誕生 健太(兄)康太(弟)
- 2009年 - 波乱万丈を乗り越えて夢を叶える事を開始
27才「音楽」をはじめ
- 2010年 - R & B オーディションにて優勝
- 2011年 - 脱サラしてニューヨーク武者修行
「ライブをするまで日本に帰らない」と決意
ニューヨーク地下鉄のホームでアカペラを歌い続ける
滞在資金が底をつく時足を止めてくれたのが
有名ライブハウスのオーナーであり2日後にライブに出演
帰国した日が2011年3月11日東日本大震災の起きた日...
学用品を東北の学校へと届けるボランティア活動に参加
その時訪れた宮城県気仙沼市の小学校校長先生から
「子ども達に歌を聴かせて欲しい」と初めて学校でライブを行う
- 2012年 - 都内を中心にライブ活動・福島県でスクールコンサートを開始
- 2013年 - 全国デビュー (タワーレコード・HMV など)
1st アルバム『DAIAMOND BLUES』発売
- 2015年 - 勝手に全国ツアーを開始
白いワンボックスカーを購入
スプレー缶で自ら黒の塗装を施し車内を改造する
音響機材を積み込み車中泊生活をしながら すべて下道移動
全国のイベントやライブハウスなどで年間約100公演
- 2016年 - TV出演「家、ついて行ってイイですか？」
放送後アルバムランキング1位
LINEニュースなどメディア各種に取り上げられる
白河市民会館大ホールコンサートを開催
- 2017年 - 白河文化交流館コミネス大ホールコンサートを開催
2nd シングル絵本『parasoul』発売
- 2018年 - 白河文化交流館コミネス大ホールコンサートを開催
スクールコンサートの年間依頼数が2倍になる
8年間の活動で訪れた学校が累計100校をこえる
- 2019年 - 白河文化交流館コミネス大ホールコンサートを開催
現在も日本各地を旅しながら多くの人々に
『音楽』と『想い』を届けるため『ダイヤモンドブルース号』
に乗って今もどこかを走り続けている